

人材養成等教育研究に係る目的

経営学部には教育上の「6つの使命（Mission）」がある。この6つの使命では、経営学部の学生を育成する方針が示されている。それは以下の6つである。

- (1) 「協力による問題解決、企業経営を主導できるビジネス・リーダーの育成」
- (2) 「社会のあり方に対し、ビジョンを持つビジネス・リーダーの育成」
- (3) 「倫理に基づいて、信頼できる企業市民としての企業活動を実現できるビジネス・リーダーの育成」
- (4) 「グローバル・ローカル双方の視点を持つビジネス・リーダーの育成」
- (5) 「起業家精神をもって、広く社会へ貢献できるビジネス・リーダーの育成」
- (6) 「自然環境を尊重し、企業と社会の持続的成長を実現できるビジネス・リーダーの育成」

カリキュラム作成は、以下の5つの方針に基づき編成されている。

- (1) それぞれの専攻分野を明示した「コースプログラム」を設置する。これによって、学生が自身の専攻分野を意識し、卒業後の職業・社会的な役割の自覚を可能にする。
- (2) ミッションに対応して、グローバルな環境で活躍できる語学力形成のために、英語教育重視のカリキュラムを実現する。
- (3) 経営学部生が弱点とする高等学校科目を再学習できるよう、最小限必要なリカレント教育をカリキュラムに入れる。
- (4) 社会で活躍する社会人による講義科目を設置し、自身の学んだ内容を現実の視点から確認できるようにする。
- (5) 講義だけでなく、実習等による学習が可能な授業内容にする。

ミッションとカリキュラム方針に基づき、経営学部で学ぶことで、卒業時点で以下のような人材になることができる。

国際経営学科では、倫理観を持ち、科学的な視点を持って、国際的に活躍できるビジネスリーダーになることができる。特に5つの専門分野についての体系的知識を備えた経営の専門家になることができる。

ディプロマ・ポリシー

- ①企業経営について、基礎的学問分野の知識を身に付け、経営上の問題を多面的に分析することができる。
- ②グローバルな変化から生まれる経営上の問題を解決するために、他者と協力して問題解決ができる。
- ③グローバル・ローカル双方の視点から、社会と企業経営に関心を持つことができる。
- ④社会のあり方に対し、起業家精神とビジョンをもち、また高い倫理観を持って、企業と社会の持続的成長を追求する姿勢を持つことができる。
- ⑤経営学の各専門分野で、経営上の問題を分析し、解決策を提示できる能力を習得している。